

電波利用料の見直しに関する 意見募集について

平成25年 5月27日
エリア放送開発委員会



1. 「電波利用料共益事務の在り方」について

- ア 電波利用共益事務の内容として、電波の有効利用を促進し、経済的価値の向上にもつながる、
「ホワイトスペースの利用環境整備」 や
「他の周波数帯におけるホワイトスペース利用」 等を含めた
 た
 電波資源拡大のための研究開発等を充実していただきたい。

アンテナ・機材	サーキット（鈴鹿）	競技場（長居）	ゴルフ場（18ホール）
アンテナ	27本	59本	（使用禁止）
漏洩同軸ケーブル	7200m	500m	12000m
同軸ケーブル	8000m	2500m	500m
増幅器	35台	10台	50台

微弱電波利用では、到達範囲が約30mと狭く、広い会場ではアンテナの数を増やしてエリアを広げていますが、同一周波数の干渉等が生ずるため設計・施工が難しい状況。多くの競技場等は郊外または屋内にあり、チャンネルの選定は比較的容易。



2. 「次期電波利用料額の見直しの考え方」について

- イ 限られた電波資源の効率的利用を促進するため、地方自治体や事業者等が2次利用の無線システムを導入する場合に、電波利用料を財源とした支援策を創設していただきたい。

- ウ ホワイトスペースを利用する2次利用の無線局のうち、優先利用の無線局（特定ラジオマイクの無線局）に劣後する無線局（エリア放送を行う地上一般放送局等）に対する減額制度を検討していただきたい。

- エ 被災した地域で新たに開設されるエリア放送を行う地上一般放送局にかかる電波利用料を免除または減額する制度を検討していただきたい。



2. 「次期電波利用料額の見直しの考え方」について

- オ 被災時・非常時等の利用に備えて平時から開設されるエリア放送を行う地上一般放送局にかかる電波利用料を免除または減額する制度を検討していただきたい。
- カ 住民や利用者等の利便性向上のために非営利で運用、または地方自治体が運用するエリア放送を行う地上一般放送局にかかる電波利用料を免除または減額する制度を検討していただきたい。



2. 「次期電波利用料額の見直しの考え方」について

キ ホワイトスペースを利用する2次利用の無線局のうち、1次利用である基幹放送局の電波とOFDMフレーム同期をとって干渉を減らす等の機能を備えて、更なる電波の有効利用を図ろうとする無線局に対する電波利用料を軽減する制度を検討していただきたい。

→ 干渉の発生を軽減する新技術の導入や、サービス・運用上の配慮等の免許人の努力行為に対する減免措置を創設。

干渉軽減に対する関心が高まるとともに、「2次利用の電波の効率的な活用」が促進されることが期待される。



ク 現行制度では、エリア放送を行う地上一般放送局の空中線電力は、無線設備規則第37条の27の25第4項で130mW以下と定められており、さらに電波法関係審査基準の別紙2の第5の8で10mW以下とすることが求められている。

一方で、利用条件が最も近い区分の基幹放送局と比較すると、エリア放送を行う地上一般放送局はホワイトスペース利用であり基幹放送局よりも優先順位が低い利用であるにも関わらず、空中線電力が大きな一部の基幹放送局よりも電波利用料が高額になっており利用実態と大きく乖離した料額設定となっている。

また、エリア放送を行う地上一般放送局よりも優先され、空中線電力50mWが認められるホワイトスペースを利用する特定ラジオマイクの無線局と比較すると、劣後するエリア放送を行う地上一般放送局の電波利用料が60倍を超える高額になっており利用実態と大きく乖離した料額設定となっている。



これらの問題を解消するため、
速やかにエリア放送を行う地上一般放送局に対する料額を見直し
ていただくとともに、2次利用の無線局間で優先利用の無線局の
料額を劣後する無線局の料額が上回ることはないように、優先利
用の無線局に劣後する無線局に対する減免措置を導入していただ
きたい。

<まとめ>

エリア放送サービスは、制度が導入されて間もないスタートアップの時期で、多くの事業者が十分な収益を得る環境が確立できていないこともあり、類似の電波利用形態の他の無線局と比べて格段に高額な電波利用料の負担を求められることに非常に不公平感を感じています。

新たに創設されたエリア放送の健全な発展のためにも、料額の見直しと運用上の制約に応じた減免措置のご検討をお願いいたします。



(参考) 電波利用料の額の比較

無線局	電波利用料	備考
基幹放送局 (20mW未満)	900円	(区分) 基幹放送局 (条件) 制約なし (一次業務)
エリア放送局 (10mW以下)	31,800円 ※二次利用に対する 減額後の金額	(区分) その他の無線局 (条件) <u>二次業務</u> の無線局 ※同一規模の <u>基幹放送局</u> の <u>約35倍</u>

無線局	電波利用料	備考
特定ラジオマイク (50mW以下)	500円	(区分) 移動する無線局 電波の周波数の幅が6MHz以下 (条件) エリア放送より優先される
エリア放送局 (10mW以下)	31,800円	(区分) その他の無線局 (条件) <u>特定ラジオマイクに劣後する</u> ※優先される <u>特定ラジオマイク</u> の <u>約63倍</u>



(参考) 微弱FM波による会場内音声サービスの実施例

カテゴリー	実施場所	サービス実績
モータースポーツ	鈴鹿サーキット 富士スピードウェイ 菅生サーキット ツインリンクもてぎ オートポリス(大分) TIサーキット 他	鈴鹿F1日本グランプリ フォーミュラニッポン、F1日本GP GT選手権、Fニッポンレース 全日本GT選手権 フォーミュラニッポン、P F1 GP
サッカー	国立競技場 横浜国際総合競技場 カシマサッカースタジアム 市原臨海競技場 静岡 日本平サッカー場 埼玉スタジアム2002 駒場競技場 長居陸上競技場、 大阪万博記念陸上競技場他	日本代表戦/ JOMOカップ J1リーグ鹿島アントラーズ戦 Jリーグジェフ市原 清水エスパルス 浦和レッズ 浦和レッズ セレッソ大阪 ガンバ大阪
競艇及び競馬場	住之江競艇場 多摩川競艇場 江戸川競艇場 大井競馬 新潟競馬 他	各地の競艇場で実施 大井ナイトー競馬
ラグビー	秩父宮球技場	全日本選手権決勝 大学ラグビー対抗戦
プロ野球公式戦	東京ドーム 横浜スタジアム	巨人戦ホームゲーム 横浜戦



(参考) 微弱FM波による会場内音声サービスの実施例

カテゴリー	実施場所	サービス実績
陸上競技	長居陸上競技場、 広島ビックアーチ 日産スタジアム 神戸ユニバー競技場 等々力競技場（川崎）	世界陸上大阪07、陸上日本選手権 日本選手権2009 スーパー陸上 日本選手権2006 スーパー陸上
大相撲	両国国技館	3場所
プロゴルフ	川奈ゴルフクラブ（仮設） スリーハンドレッドクラブ（仮設） 江戸崎カントリークラブ（仮設） 阿見カントリークラブ（仮設） 武蔵ヶ丘カントリークラブ（仮設） その他	フジサンケイクラシック フジサンケイレディース マンシングウェアカップ ニチレイレディース タイガーウッズインビテーション ダンロップオープン、日本プロシニアなど
バレーボール	大阪府立体育館（仮設）	ワールドカップバレー
イベント放送	湘南周辺海岸線（仮設） 横浜国際競技場 東京国際映画祭	SURF90 神奈川県体 渋谷
同時通訳	幕張メッセ内会議場（仮設）	インターBEE
駐車場誘導システム	帝国ホテル ホテルニューオータニ 参議院本館及び議員会館 衆議院本館	

